

平成27年3月期 第1四半期業績 補足資料

平成26年8月1日
塩野義製薬株式会社

① 主要製商品売上高

(単位:億円)

	26年上期 予測	26年度 予測	26年4-6月 実績	25年4-6月 実績	対前年 増減額	対上期予測 進捗率
国内医療用医薬品	805 (△0.5)	1,670 (△0.8)	387 (△4.3)	404 (1.9)	△17	48.1
クレストール	210	425	108	100	8	51.6
イルベタン類	73	159	37	29	8	51.2
サインバルタ	62	136	25	26	△1	41.0
戦略3品目合計	345	720	171	155	16	49.6
オキシコンチン類	55	107	27	27	△0	49.0
フィニバックス	23	46	9	11	△2	37.9
ディフェリン	21	46	9	9	△0	42.0
ピレスパ	27	56	13	12	1	46.7
ラピアクタ	2	25	1	1	△0	26.1
戦略8品目合計	473	1,000	229	216	13	48.4
フロモックス	62	130	31	39	△8	50.6
リンデロン等外用	45	84	21	24	△3	46.0
クラリチン	17	41	9	9	△0	51.0
フルマリン	23	44	11	14	△3	47.1
輸出/海外子会社	150 (△2.3)	313 (△8.0)	67 (△19.6)	84 (13.3)	△17	44.7
シオノギ Inc.	79	177	28	54	△26	36.0
OspheNa	25	70	8	-	8	30.4
C & O	34	75	18	13	5	52.0
製造受託	48 (△4.2)	114 (36.1)	28 (17.2)	24 (1.4)	4	58.0
一般用医薬品	24 (3.4)	46 (1.9)	11 (11.3)	10 (△25.2)	1	46.2
ロイヤリティ収入	260 (△22.2)	520 (△26.4)	127 (△9.8)	140 (△12.5)	△13	48.7
クレストール	242	475	118	131	△13	48.6
その他 ※	13 (△24.3)	27 (△29.2)	7 (△29.9)	10 (2.1)	△3	56.9
合計	1,300 (△6.3)	2,690 (△7.2)	627 (△6.7)	673 (△0.8)	△46	48.3

()内 対前年UP%

製商品別売上高は単体実績

※診断薬事業につきましては、26年度より「その他」に含めております。

②-1 四半期別業績推移(四半期別主要製商品売上高)

(単位:億円)

平成26年3月期	25年4-6月 実績	対前年 UP率	25年7-9月 実績	対前年 UP率	25年10-12月 実績	対前年 UP率	26年1-3月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	404	1.9	405	1.1	465	2.9	409	0.2
クレストール	100	16.7	106	5.4	106	7.9	99	2.5
イルベタン類	29	23.7	38	58.2	39	9.6	33	35.1
サインバルタ	26	19.4	26	6.8	31	28.3	31	17.1
戦略3品目合計	155	18.4	170	14.1	176	11.4	162	10.5
オキシコンチン類	27	5.9	27	5.4	31	6.4	21	△ 0.5
フィニバックス	11	△ 7.1	12	△ 3.4	13	△ 12.2	11	△ 2.1
ディフェリン	9	7.2	10	△ 9.4	12	11.1	13	30.1
ピレスパ	12	15.1	12	△ 10.8	14	26.8	10	△ 1.1
ラピアクタ	1	36.0	0	△ 83.4	4	8.1	15	△ 1.9
戦略8品目合計	216	14.4	228	9.4	251	9.8	234	8.1
フロモックス	39	△ 11.9	36	△ 11.0	46	△ 14.0	37	△ 10.8
リンデロン等外用	24	△ 0.4	23	△ 2.3	22	△ 1.6	19	2.0
クラリチン	9	△ 26.0	9	△ 9.4	12	△ 10.6	19	△ 31.6
フルマリン	14	△ 7.9	14	△ 17.4	15	△ 1.5	11	△ 12.2
輸出/海外子会社	84	13.3	70	△ 5.8	120	82.4	66	△ 27.5
シオノギ Inc.	54	53.0	41	4.9	83	96.0	36	△ 32.9
Osphena	-	-	1	-	4	-	6	-
C & O	13	△ 14.2	16	13.5	13	2.7	17	2.8
製造受託	24	1.4	26	24.6	8	△ 41.8	26	76.8
一般用医薬品	10	△ 25.2	13	△ 9.6	11	△ 8.3	11	△ 6.2
診断薬	4	△ 22.6	4	△ 34.7	5	△ 6.8	7	25.3
ロイヤリティ収入	140	△ 12.5	194	11.6	181	△ 3.6	192	8.5
クレストール	131	△ 10.9	181	13.1	167	6.0	178	7.7
その他	6	33.2	3	△ 46.2	5	△ 13.8	4	△ 13.9
合計	673	△ 0.8	714	2.8	794	7.1	716	0.2

平成27年3月期	26年4-6月 実績	対前年 UP率
国内医療用医薬品	387	△ 4.3
クレストール	108	8.2
イルベタン類	37	30.4
サインバルタ	25	△ 2.5
戦略3品目合計	171	10.5
オキシコンチン類	27	△ 1.7
フィニバックス	9	△ 22.0
ディフェリン	9	△ 5.8
ピレスパ	13	2.9
ラピアクタ	1	△ 30.7
戦略8品目合計	229	6.0
フロモックス	31	△ 19.6
リンデロン等外用	21	△ 13.2
クラリチン	9	△ 7.8
フルマリン	11	△ 21.0
輸出/海外子会社	67	△ 19.6
シオノギ Inc.	28	△ 47.0
Osphena	8	-
C & O	18	37.6
製造受託	28	17.2
一般用医薬品	11	11.3
ロイヤリティ収入	127	△ 9.8
クレストール	118	△ 10.1
その他※	7	△ 29.9
合計	627	△ 6.7

製商品別売上高は単体実績

※診断薬事業につきましては、平成27年3月期より「その他」に含めております。

②-2 四半期別業績推移(四半期別連結損益計算書)

(単位:億円)

平成26年3月期	25年4-6月 実績	対前年 UP率	25年7-9月 実績	対前年 UP率	25年10-12月 実績	対前年 UP率	26年1-3月 実績	対前年 UP率
売上高	673	△ 0.8	714	2.8	794	7.1	716	0.2
売上原価	27.3 184	△ 10.8	26.4 189	△ 3.8	25.4 202	3.0	28.7 206	9.6
売上総利益	489	3.5	526	5.4	592	8.6	511	△ 3.1
販売費・一般管理費	54.7 368	-	51.4 367	-	48.3 384	-	53.0 380	-
販売費・管理費	236	2.2	238	5.4	248	9.9	240	2.4
研究開発費	132	-	129	-	136	-	139	-
営業利益	18.0 121	-	22.2 158	-	26.3 208	-	18.3 131	-
営業外収支	5		△ 11		18		△ 8	
経常利益	18.7 126	-	20.6 147	-	28.5 227	-	17.1 122	-
特別損益	6		38		-		△ 33	
税金等調整前四半期純利益	131		185		227		89	
税金費用他	23		82		76		44	
四半期純利益	16.1 108	-	14.4 103	-	19.0 151	-	6.2 45	-

平成27年3月期	26年4-6月 実績	対前年 UP率
売上高	627	△ 6.7
売上原価	31.6 198	8.1
売上総利益	429	△ 12.3
販売費・一般管理費	55.6 349	△ 5.3
販売費・管理費	231	△ 2.2
研究開発費	117	△ 10.7
営業利益	12.8 80	△ 33.6
営業外収支	56	
経常利益	21.7 136	8.4
特別損益	-	
税金等調整前四半期純利益	136	
税金費用他	33	
四半期純利益	16.5 103	△ 4.6

平成27年3月期第1四半期より、研究開発費に関する会計方針の変更を行っております。
このため、平成26年3月期の販売費・一般管理費、研究開発費、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益、税金費用他、四半期純利益については、遡及修正後の数値を記載しております。
なお、対前年UP率については、算定していないため記載しておりません。

③ 開発品（2014年8月現在）

領域	開発No. (一般名) 【製品名】	薬効 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
感染症	S-649266	セフェム系抗生物質 (注射)	各種細菌感染症	グローバル: フェーズ II	自社	自社
疼痛・神経	LY248686 (デュロキセチン塩酸塩) 【サインバルタ®】	SNRI(セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬) (経口)	慢性腰痛症	日本: フェーズ III	Eli Lilly社(米国)	自社/日本イーライリリー社
	S-297995 (Naldemedine)	末梢性オピオイド受容体アンタゴニスト (経口)	オピオイド投与に伴う 消化器症状	グローバル: フェーズ III 日本: フェーズ III	自社	自社
	S-877503 (グアンファシン塩酸塩)	非中枢神経刺激薬 (経口)	ADHD	日本: フェーズ II/III	Shire社(アイルランド)	自社/Shire社
	S-877489 (Lisdexamfetamine)	中枢神経刺激薬 (経口)	ADHD	日本: フェーズ II	Shire社(アイルランド)	自社/Shire社
	S-117957	神経障害性疼痛治療薬 (経口)	神経障害性疼痛	米国: POM	自社/Purdue社(米国)	自社/Purdue社
	S-120083	炎症性疼痛治療薬 (経口)	炎症性疼痛	日本: フェーズ I	自社/Purdue社(米国)	自社/Purdue社
	S-010887	神経障害性疼痛治療薬 (経口)	神経障害性疼痛	日本: フェーズ I	自社	自社
代謝疾患	S-556971	コレステロール吸収阻害薬 (経口)	脂質異常症	日本: フェーズ II	寿製薬(日本)	自社/寿製薬
	S-707106	インスリン抵抗性改善薬 (経口)	2型糖尿病	米国: フェーズ II a	自社	自社
	S-237648	ニューロペプチド Y Y5受容体アンタゴニスト (経口)	肥満症	日本: フェーズ I	自社	自社
フロンティア	Ospemifene	選択的エストロゲン受容体モジュレーター (経口)	閉経後陰萎縮症	米国: 承認(2013年2月) 欧州: 申請中(2013年3月)	QuatRx社(米国)	自社/QuatRx社
	S-524101	ダニ抗原特異的舌下免疫療法薬	ダニ抗原による アレルギー性鼻炎	日本: 申請中(2014年4月)	Stallergenes社 (フランス)	自社
	S-555739	プロスタグランジンD2受容体アンタゴニスト (経口)	アレルギー性鼻炎	日本: フェーズ III 米国: フェーズ II a 欧州: POM	自社	自社
	S-888711 (Lusutrombopag)	低分子TPOミメティック (経口)	血小板減少症	欧米: フェーズ II 日本: フェーズ III	自社	自社
	S-588410	がんペプチドワクチン (注射)	膀胱がん	日欧: フェーズ II	オンコセラピー・サイエンス社(日本)	自社
	S-488210	がんペプチドワクチン (注射)	頭頸部がん	欧州: フェーズ I/II	オンコセラピー・サイエンス社(日本)	自社
	S-646240	ペプチドワクチン (注射)	加齢黄斑変性症	日本: フェーズ II a	オンコセラピー・サイエンス社(日本)	自社
	S-222611	HER2/EGFRデュアル阻害薬 (経口)	悪性腫瘍	欧州: フェーズ I/II	自社	自社
	S-525606	スギ抗原特異的舌下免疫療法薬	スギ抗原による アレルギー性鼻炎	日本: フェーズ I	Stallergenes社 (フランス)	自社

<導出品>

開発No. (一般名)	薬効 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
S/GSK1349572 (ドルテグラビルナトリウム)	インテグラーゼ阻害薬 (経口)	HIV感染症	グローバル:申請中(2012年12月) 米国:承認(2013年8月) 欧州:承認(2014年1月) 日本:承認(2014年3月) その他11カ国で承認	Shionogi-ViiV Healthcare社	ViiV Healthcare社 (英国)
ドルテグラビルナトリウム/アパカビル硫酸塩/ラミブジン	インテグラーゼ阻害薬/核酸系逆転写酵素阻害薬 (経口)	HIV感染症	欧米:申請中 (2013年10月)	Shionogi-ViiV Healthcare社	ViiV Healthcare社 (英国)
S/GSK1265744 LAP*	インテグラーゼ阻害薬 (注射)	HIV感染症	米国:フェーズII	Shionogi-ViiV Healthcare社	ViiV Healthcare社 (英国)
S-0373	非ペプチド型TRHミメティック (経口)	脊髄小脳変性症	日本:フェーズIII	自社	キッセイ薬品(日本)
Janssen/シオノギ β-セクレターゼ阻害薬	β-セクレターゼ阻害薬 (経口)	アルツハイマー病	欧州:フェーズI	自社	Janssen Pharmaceuticals社 (米国)

*: Long acting parenteral formulation

<「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発要請を受けた品目>

一般名 【製品名】	薬効 (剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
オキシコドン塩酸塩水和物 【オキシコンチン®】	アヘンアルカロイド系麻薬 (経口)	中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛	日本:フェーズIII	Napp社(英国)	自社
デュロキセチン塩酸塩 【サインバルタ®】	SNRI(セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬) (経口)	線維筋痛症	日本:申請中 (2014年6月)	Eli Lilly社(米国)	自社/日本イーライリリー社
バンコマイシン塩酸塩 【塩酸バンコマイシン】	グリコペプチド系抗菌薬 (点滴静注)	1. <適応菌種>バンコマイシンに感性的メチシリン耐性コアグラゼ陰性ブドウ球菌(MRCNS) <適応症>敗血症, 感染性心内膜炎, 外傷・熱傷および手術創等の二次感染, 骨髄炎, 関節炎, 腹膜炎, 化膿性髄膜炎 2. MRSAまたはMRCNS感染が疑われる発熱性好中球減少症	日本:承認 (2014年5月)	Eli Lilly社(米国)	自社

<学会等の要望として開発要請を受けた品目>

一般名 【製品名】	薬効(剤型)	適応症	ステージ	起源	開発
インターフェロン ガンマ-1a (遺伝子組換え) 【イムノマックス®-γ注】	インターフェロン ガンマ-1a (遺伝子組換え) (注射)	菌状息肉症, セザリ-症候群	日本:承認 (2014年5月)	Biogen社(米国)	自社

2014年5月からの変更点

ステージの変更	S-649266:米国:フェーズII、日本:フェーズI → グローバル:フェーズII
	S-525606:日本:フェーズI準備中 → 日本:フェーズI
	デュロキセチン塩酸塩【サインバルタ®】線維筋痛症:日本:申請準備中 → 日本:申請中(2014年6月)
	バンコマイシン塩酸塩【塩酸バンコマイシン】:日本:公知申請(2013年11月) → 日本:承認(2014年5月)
	インターフェロン ガンマ-1a(遺伝子組換え)【イムノマックス®-γ注】日本:申請中(2013年8月) → 日本:承認(2014年5月)